

彦根市観光に関する 経済効果測定調査 報告書

概要版

2023 年 彦根市観光の消費動向調査結果および
観光消費による経済的波及効果の推計

2024 年 3 月

観光消費による経済波及効果の推計

主要調査結果

	直接効果				波及効果	
	観光客数 (実人数推計) (万人)	観光消費額 (億円)	うち ひこにゃん グッズ販売額 (億円)	うち 御城印 販売額 (億円)	総額 (億円)	雇用効果 (人)
2007年	243	174	17.0		338	2,872
2008年	185	170	9.5		331	1,955
2009年	210	108	7.8		211	1,200
2010年	211	120	8.5		228	1,129
2011年	228	143	7.8		271	1,324
2012年	204	137	9.0		258	1,309
2013年	206	141	8.0		266	1,304
2014年	調査不実施					
2015年	調査不実施					
2016年	226	166	7.2		313	1,302
2017年	237	197	8.8		362	1,429
2018年	206	158	7.5		294	1,290
2019年	217	161	9.0		296	1,273
2020年	90	79	4.2		147	666
2021年	90	67	1.5		88	476
2022年	124	117	2.1	0.3	157	1,354
2023年(今回調査)	159	141	3.4	0.4	190	1,713
前年差	35	24	1.3	0.1	33	359
前年比	28%	20%	64%	16%	21%	27%

※2007年のみ「彦根城築城400年祭」開催期間(250日)の経済効果を測定した数値となっている。

・直接効果

観光客数 159 万人
観光消費額 141 億円

ひこにゃんグッズ
販売額 3.4 億円

・波及効果

経済波及効果総額
190 億円

雇用効果
1,713 人

主要参考指標

	1人あたり観光消費額		彦根城 入場者数 (万人)	市内観光 入込客数 (万人)	普通車 駐車台数 (万台)	大型車 駐車台数 (台)
	日帰り客 (円)	宿泊客 (円)				
2007年	5,184	23,308	76	406		
2008年	6,660	29,554	65	333		
2009年	3,741	20,576	72	323		
2010年	4,061	19,517	73	344		
2011年	4,141	20,408	83	364	23.2	6,244
2012年	4,393	20,260	72	332	20.5	5,012
2013年	4,332	21,499	74	319	21.6	5,255
2014年	調査不実施		74	301	23.3	6,215
2015年	調査不実施		79	321	22.4	6,471
2016年	4,273	22,117	79	326	22.8	5,638
2017年	5,429	21,871	84	342	23.1	6,739
2018年	4,305	19,549	73	307	21.5	5,794
2019年	4,203	19,480	77	315	22.4	6,210
2020年	4,011	18,922	37	145	13.3	2,042
2021年	3,130	20,466	38	154	13.1	1,355
2022年	6,148	31,771	52	200	17.0	2,302
2023年(今回調査)	4,809	27,304	66	269	17.8	3,799
前年差	▲1,339	▲4,467	14	69	0.8	1,497
前年比	-22%	-14%	27%	34%	6.0%	73%

※2007年のみ「彦根城築城400年祭」開催期間(250日)の経済効果を測定した数値となっている。

※普通車駐車台数は臨時駐車場合含む

・宿泊客

27,304 円
日帰り客
4,809 円

・彦根城

入場者数
66 万人

・普通車駐車台数

17.8 万台
大型車駐車台数
3.8 千台

前年から続く新型コロナウイルス感染症の流行の影響により、彦根の代表的観光スポットである彦根城の入場者数は、前年調査の1.3倍程度であり、2019年までと比較するといまだ低い水準であった。観光客の入込客数も269万人と昨年度の1.4倍程度となっており、これを1人あたり訪問地点数・宿泊数で割った観光客実人数は159万人であった。1人あたり観光消費額では、宿泊客および日帰り客いずれも減少した。結果として、観光消費総額は141億円、経済波及効果は190億円と前年と比較し大幅に増加した。

観光客 1人あたり観光消費額の内訳

【観光客 1人あたり観光消費額の内訳】

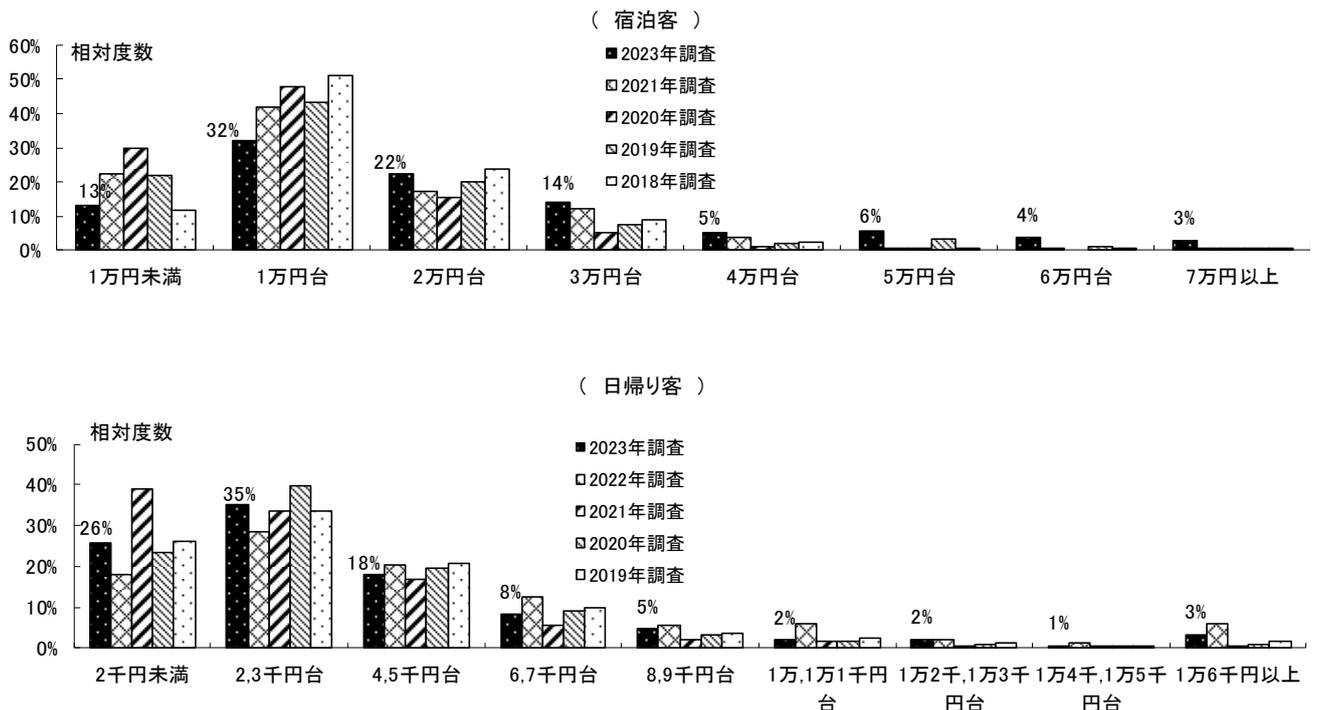
- 観光客アンケートデータから、彦根観光における宿泊客 1人あたり観光消費金額はクーポン割引を除き 27,284 円、クーポン割引を含め 27,304 円、日帰り客 1人あたり観光消費金額はクーポン割引を除き 4,653 円、クーポン割引を含め 4,809 円となった。
- 宿泊客は前年の全国旅行支援割引を除く金額と比較し 3%、日帰り客は前年と比較し 24%減少した。
- 前年と比較し 1人あたりの交通費が大幅に減少している。(詳細は本編 35～42 ページに記載)

	2023年調査(本調査)			
	宿泊客		日帰り客	
	割合	平均金額	割合	平均金額
交通費	18%	¥4,932	27%	¥1,238
宿泊費	54%	¥14,802	0%	¥0
飲食費	14%	¥3,877	29%	¥1,347
お土産購入費	10%	¥2,652	25%	¥1,181
内ひこにゃんグッズ	24%	¥625	30%	¥349
内御城印購入費	3%	¥72	4%	¥42
彦根城入場料等	4%	¥1,021	19%	¥886
補正前合計		¥27,284		¥4,653
クーポン割引額	0%	¥19	3%	¥157
合計		¥27,304		¥4,809

※「内ひこにゃんグッズ」の割合のみ、お土産購入費に占める割合

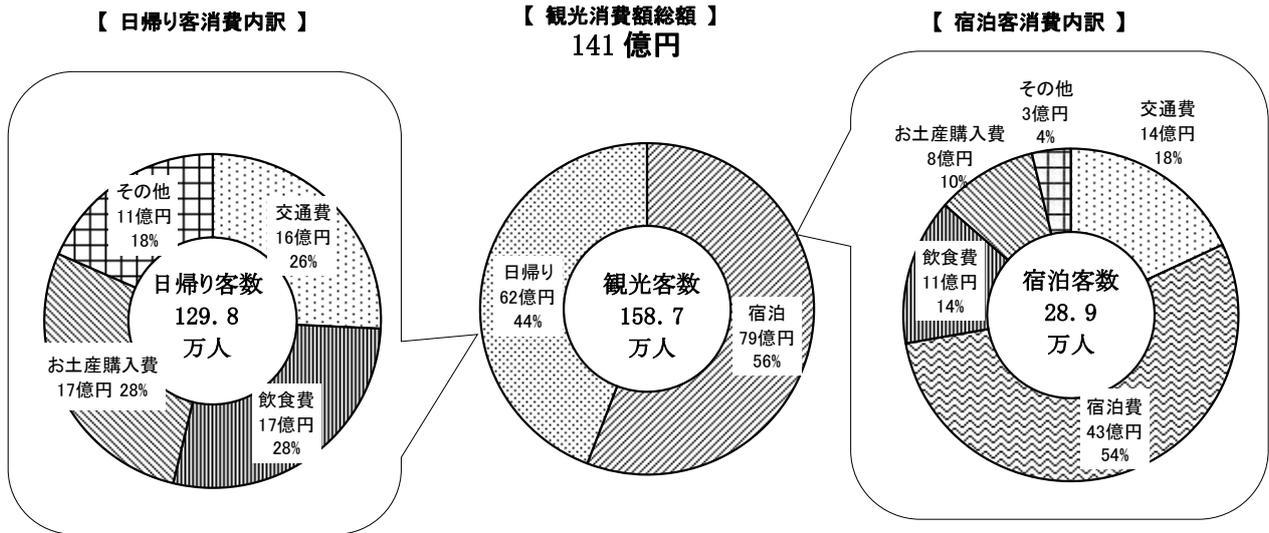
支出金額推移	調査年 ※2014, 2015年は不実施														
	2023年	2022年	2021年	2020年	2019年	2018年	2017年	2016年	2013年	2012年	2011年	2010年	2009年	2008年	2007年
交通費	¥4,932	¥6,117	¥329	¥735	¥1,206	¥1,652	¥2,358	¥1,790	¥3,273	¥3,079	¥2,998	¥3,257	¥3,786	¥5,636	¥2,917
宿泊費	¥14,802	¥14,670	¥12,942	¥7,835	¥10,352	¥11,488	¥11,975	¥13,724	¥9,953	¥10,011	¥9,392	¥9,267	¥8,141	¥12,059	¥9,961
飲食費	¥3,877	¥3,714	¥3,665	¥3,534	¥3,715	¥2,996	¥3,787	¥3,556	¥4,054	¥3,515	¥3,970	¥3,238	¥3,682	¥5,109	¥4,364
お土産購入費	¥2,652	¥2,857	¥2,510	¥1,966	¥3,473	¥2,399	¥2,599	¥2,351	¥3,173	¥3,216	¥3,090	¥2,846	¥3,756	¥5,102	¥4,592
内ひこにゃんグッズ	¥625	¥549	¥562	¥500	¥675	¥523	¥546	¥470	¥726	¥724	¥699	¥790	¥654	¥1,111	¥2,160
その他	¥1,021	¥916	¥1,021	¥848	¥734	¥1,013	¥1,151	¥696	¥1,045	¥440	¥959	¥909	¥1,212	¥1,648	¥1,475
合計	¥27,284	¥28,275	¥20,466	¥14,919	¥19,480	¥19,549	¥21,871	¥22,117	¥21,499	¥20,260	¥20,408	¥19,517	¥20,576	¥29,554	¥23,308
交通費	¥1,238	¥2,700	¥254	¥536	¥588	¥410	¥741	¥583	¥892	¥949	¥860	¥1,056	¥1,004	¥1,947	¥1,168
宿泊費	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
飲食費	¥1,347	¥1,425	¥1,291	¥1,526	¥1,559	¥1,709	¥1,782	¥1,570	¥1,614	¥1,622	¥1,217	¥1,272	¥1,069	¥1,807	¥1,277
お土産購入費	¥1,181	¥1,161	¥950	¥1,163	¥1,428	¥1,403	¥2,047	¥1,570	¥1,227	¥1,572	¥1,503	¥1,226	¥1,083	¥1,953	¥1,437
内ひこにゃんグッズ	¥349	¥387	¥217	¥336	¥345	¥316	¥334	¥288	¥328	¥392	¥310	¥357	¥346	¥442	¥504
その他	¥886	¥862	¥635	¥786	¥629	¥782	¥860	¥550	¥598	¥251	¥561	¥508	¥586	¥953	¥1,302
合計	¥4,653	¥6,148	¥3,130	¥4,011	¥4,203	¥4,305	¥5,429	¥4,273	¥4,332	¥4,393	¥4,141	¥4,061	¥3,741	¥6,660	¥5,184

【 1人あたり観光消費額の分布 】



【 観光客数と観光消費額 】

彦根市に来訪した観光客数(実人数)は、159 万人であった(導出は本編 21～22 ページ参照)。そのうち、宿泊客は 29 万人、日帰り客は 130 万人と推計される。宿泊・日帰り客を合算すると、交通費 30 億円、宿泊費 43 億円、飲食費 29 億円、お土産購入費 25 億円、その他 14 億円を消費している。これらより、観光客の消費総額は 141 億円と推計される。なお、お土産購入費に占めるひこにゃんグッズ販売額は 3 億円、また、御城印販売額は 0.4 億円と推計される。観光消費額、宿泊・日帰り客消費内訳は以下の図のとおりで、全体に占める宿泊客の観光消費額が過半となった

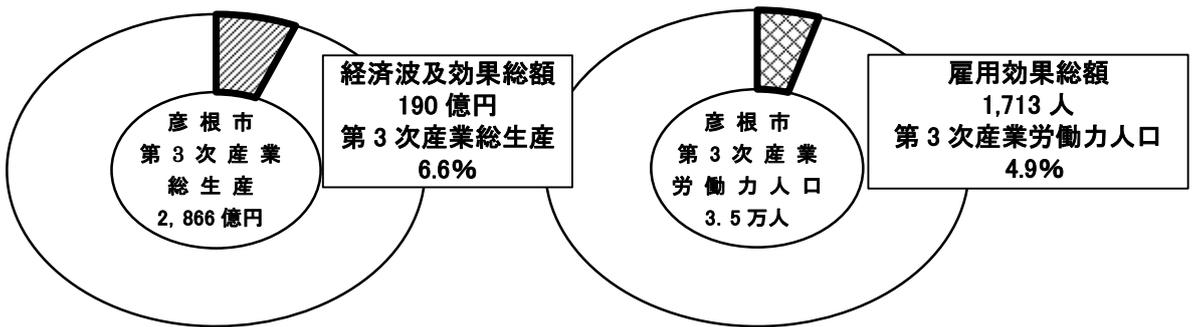


波及効果の相対的規模

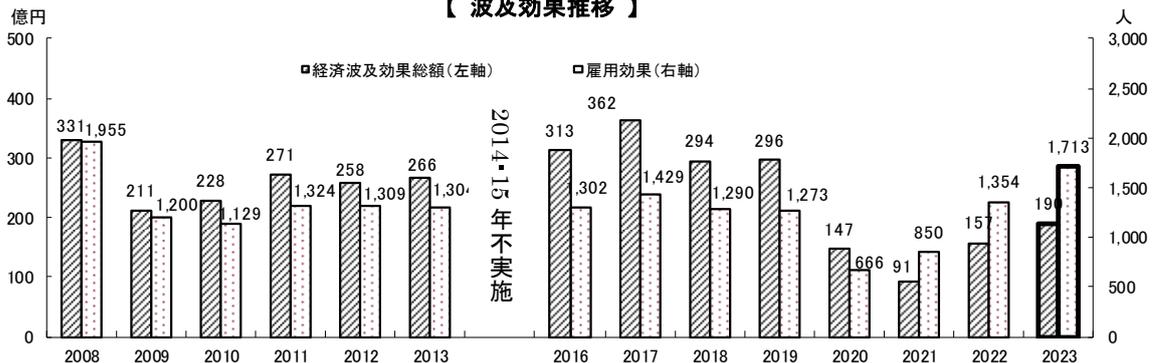
彦根市第 3 次産業総生産の 6.6% 第 3 次産業労働力の 4.9%

【 観光消費による経済波及効果の総額 】

観光消費 141 億円による経済波及効果総額は 190 億円と推計された。また、雇用効果は 1,713 人と推計された。これは彦根市第 3 次産業総生産の約 6.6%、同市第 3 次産業労働力人口の約 4.9%に相当する。



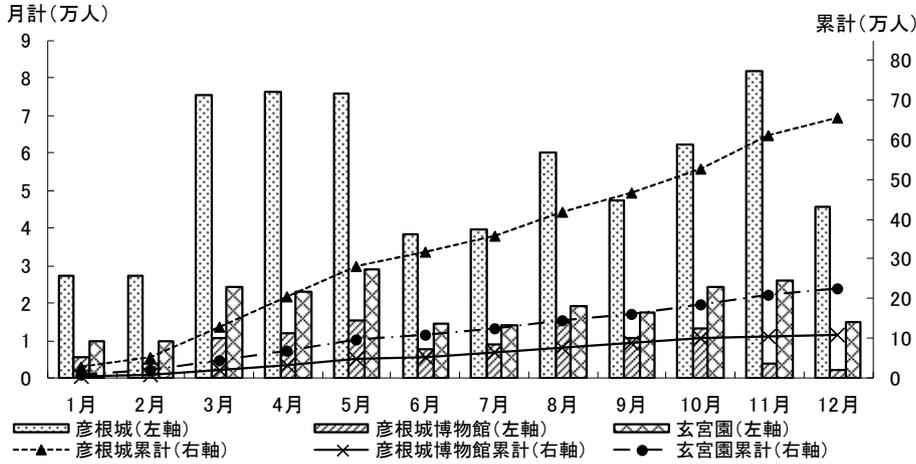
【 波及効果推移 】



2023年 彦根城周辺観光の概況

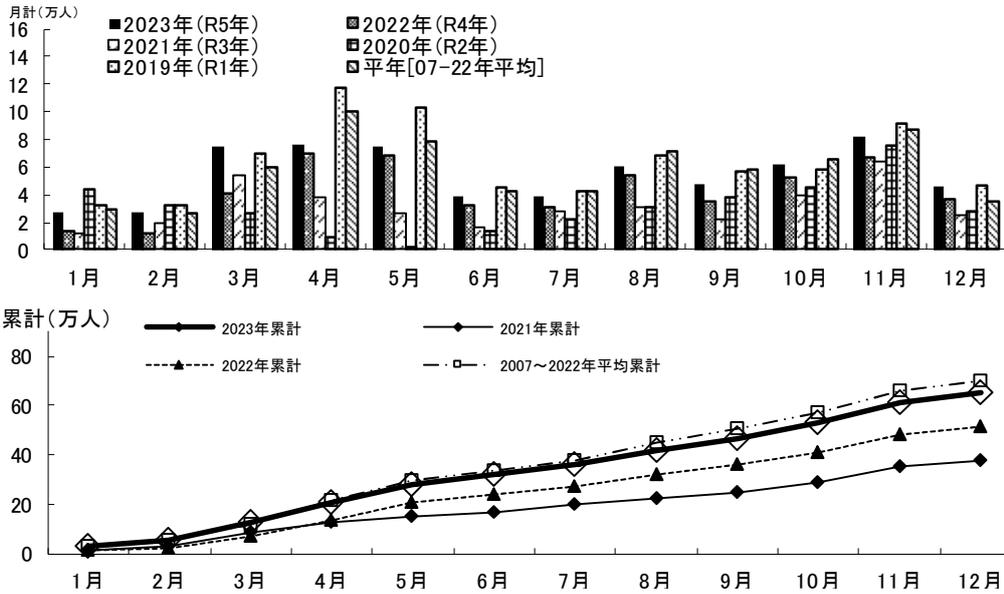
彦根城入場者数 66 万人（前年比 27%増）

【彦根城・彦根城博物館・玄宮園 入場者数推移】

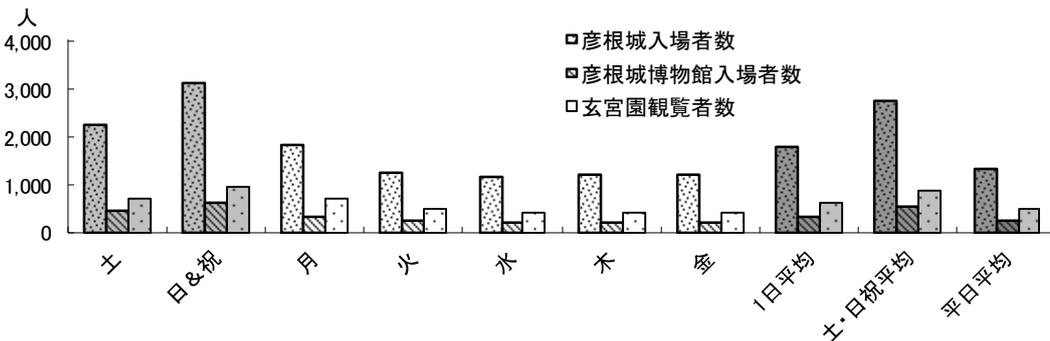


- 彦根城の入場者数は、年間約 66 万人(前年約 52 万人)だった。
- 月別で最も入場者の多かったのは 11 月の約 8.2 万人で、10 万人を超えた月はなかった。
- いずれの施設も、例年春季(3～5 月)に入場者が多く、年間入場者の約 1/3 を占めている
- 今年は新型コロナウイルス感染症の流行の影響が緩和されつつあることにより、全体的に入場者が増加している。

【過去の彦根城入場者数 月別推移】



【彦根城および彦根城博物館 曜日別入場者数】（※月～金の祝日は日&祝日に算入）



普通車大型車ともに駐車台数は前年比増加・平年比減

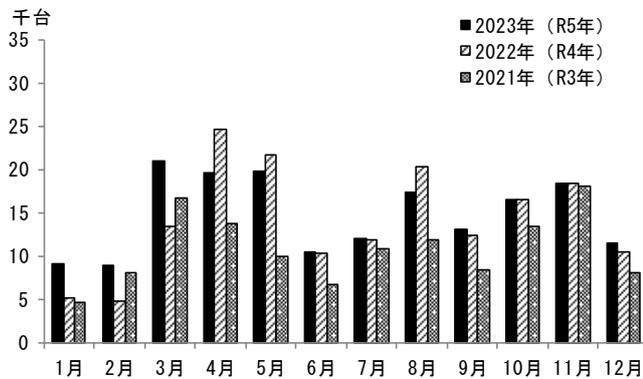
【 駐車台数推移 】

	普通車	大型車
2015年	224,140	6,471
2016年	228,493	5,638
2017年	231,295	6,739
2018年	214,689	5,794
2019年	224,151	6,210
2020年	133,244	2,042
2021年	131,161	1,355
2022年	170,383	2,302
2023年	178,432	3,799

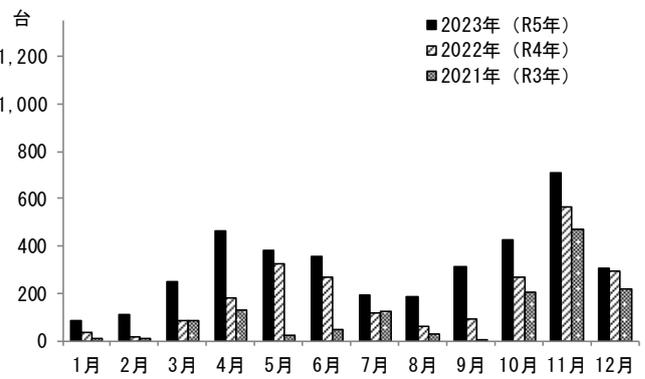
※普通車は臨時駐車場を含む

- ・大型車は前年比で約7割増加したが、普通車は前年と同程度であった。
- ・月別にみると、4、8月は2022年を大きく下回る台数であったが、その他の月は2022年と同程度又は上回る台数であった。特に3月は2022年を大きく上回る台数であった。
- ・一方で、大型車は新型コロナウイルス感染症の流行の影響により駐車台数が激減していたが、2022年以降はやや増加し、2023年は2019年の61%程度(平年の76%程度)まで回復している。

【 月別普通車駐車台数 】



【 月別大型車駐車台数 】



【 県内主要観光地入込客数における本年の実績 】

順位	観光地名	市町名	地域名	入込客数(人)
1	ラコリーナ近江八幡	近江八幡市	東近江	3,213,522
2	多賀大社	多賀町	湖東	1,598,731
3	黒壁ガラス館	長浜市	湖北	1,426,110
4	めんたいパークびわ湖	野洲市	南部	1,132,000
5	道の駅 妹子の郷	大津市	大津	796,000
6	草津川跡地公園(区間2・区間5)	草津市	南部	784,740
7	希望が丘文化公園	野洲市、湖南市、竜王町		778,502
8	道の駅 藤樹の里あどがわ	高島市	高島	773,824
9	道の駅 あいとうマーガレットステーション	東近江市	東近江	664,300
10	日牟禮八幡宮	近江八幡市	東近江	569,000
11	道の駅 アグリパーク竜王	竜王町	東近江	561,823
12	彦根城	彦根市	湖東	515,998

- ・彦根城は、2022年は前年度比14万人増加し、順位は12位と4ランク上がった。
- ・夢京橋キャッスルロードは、2022年は約23万人(前年約16万人)にとどまったためランクインできなかった。

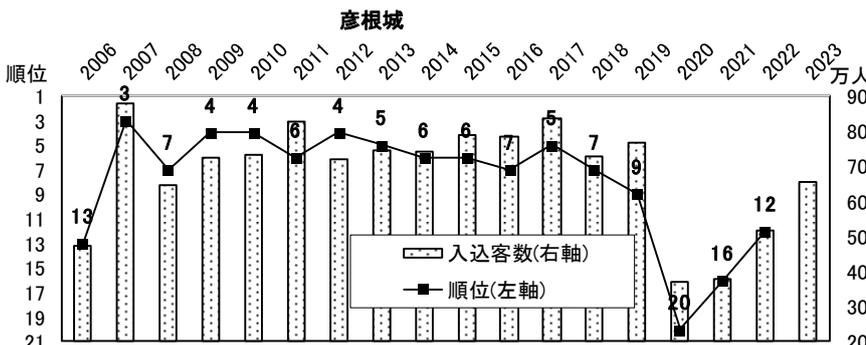
→ 2023年 66万人

→ 2023年 26万人

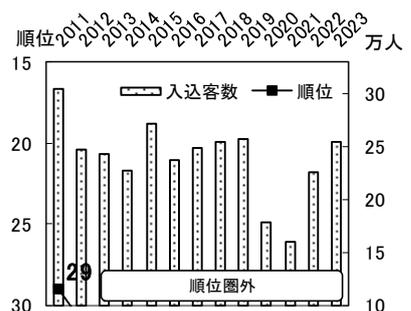
圏外	夢京橋キャッスルロード	彦根市	湖東	225,569
----	-------------	-----	----	---------

※令和4年滋賀県観光入込客統計調査より

【 観光地ランキング推移 】



夢京橋キャッスルロード



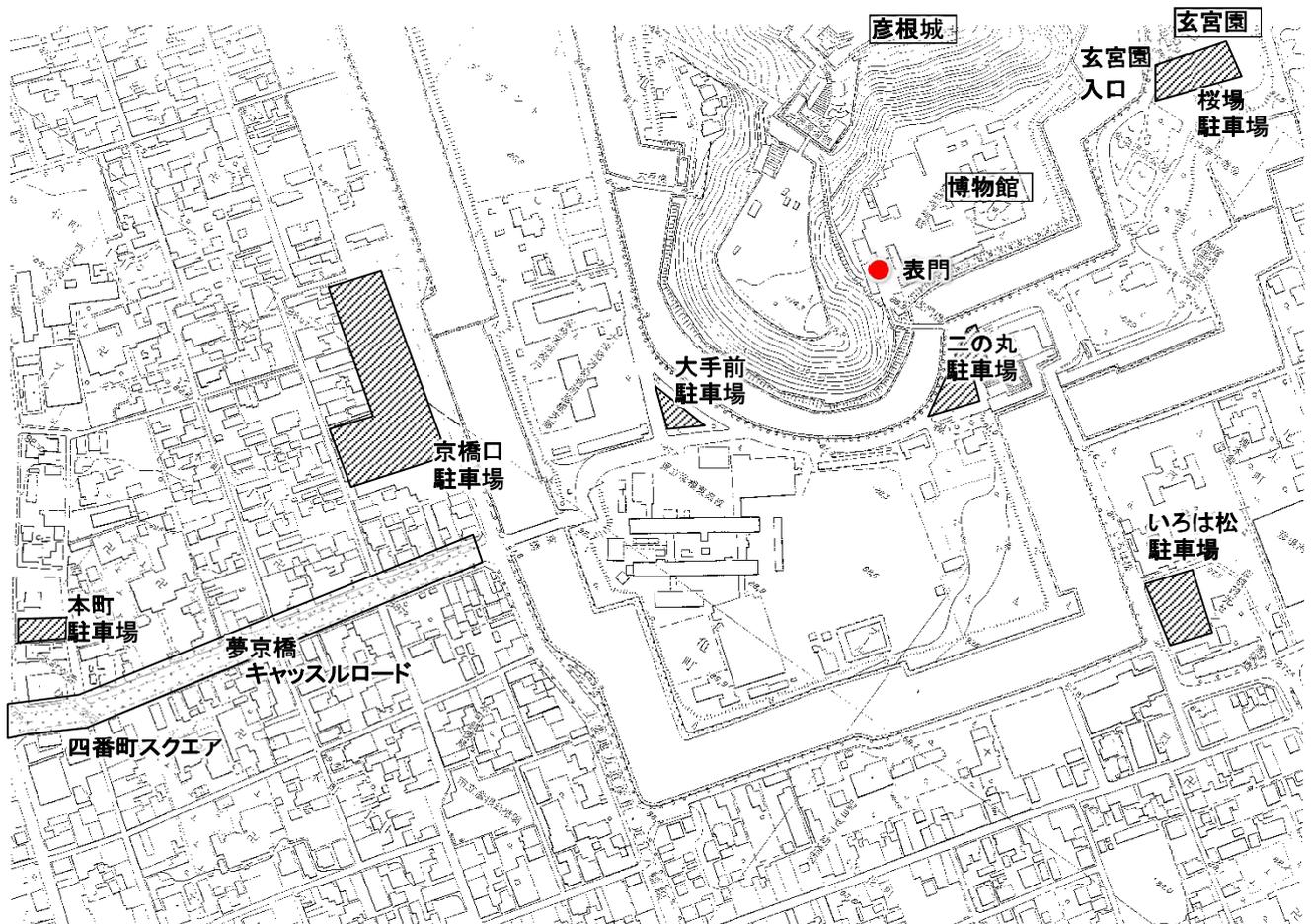
観光客アンケート調査 集計概要

調査方法

彦根城周辺1地点に、調査員を6名配置し、その地を訪れた観光客に対してアンケート票を配付し、自記入法(その場で回収)による調査を行った。

実施日・調査地点

調査は平日[10/12(木)、10/13(金)]、通常の休日[10/14(土)、10/15(日)]に分けて実施した。具体的な調査地点は以下の通りである。

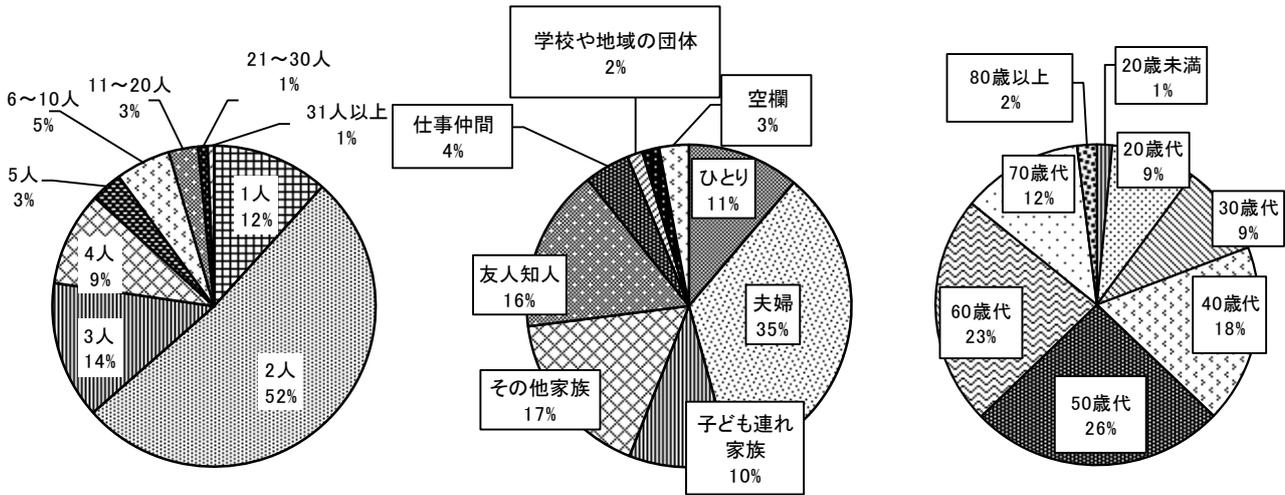


アンケート回答数

	平日	平日	通常の休日	通常の休日	計
	10/12(木)	10/13(金)	10/14(土)	10/15(日)	
回答数	466	471	662	354	1953

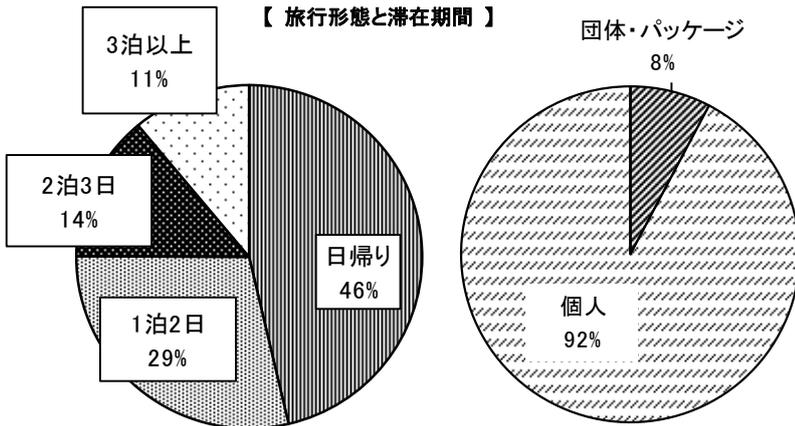
**観光客像は家族あるいは友人知人の2人連れで変わらず
40代から70代以上の各世代がバランスよく訪れている**

【 来訪者の属性 】



**宿泊旅行の個人客がメイン 日帰り客比率は増加
団体旅行客の比率は昨年と同程度**

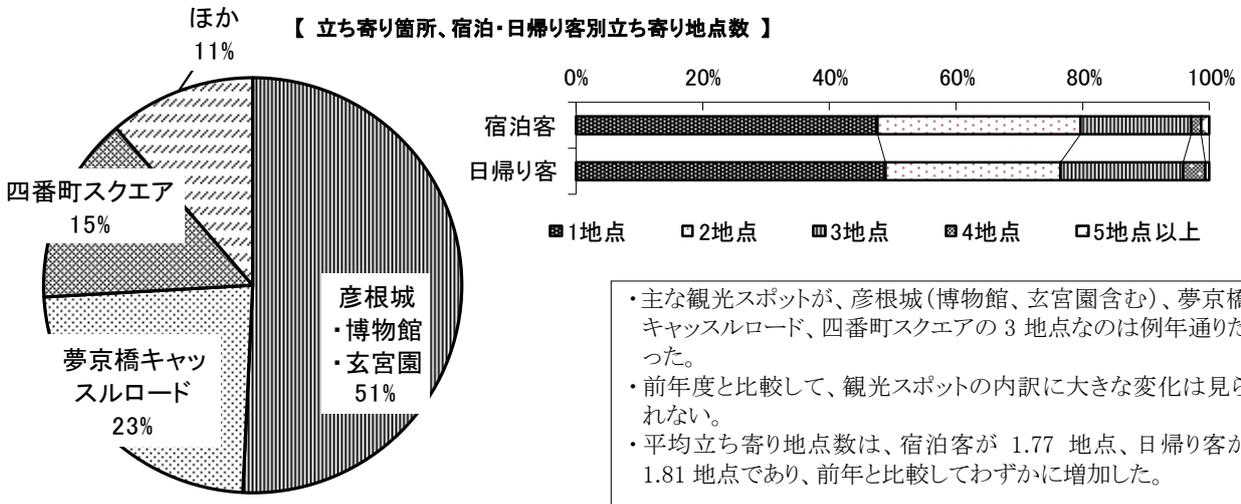
【 旅行形態と滞在期間 】



- ・ 前年に比べ日帰り客比率が 8 ポイント増加し、その分 1 泊の宿泊客比率が 8 ポイント減少した。
- ・ 連泊客比率は平日が高かった。
- ・ 宿泊者平均泊数は 2.01 泊であり、前年比 0.24 泊増加した。
- ・ 彦根市内に宿泊する客に限ると、平均泊数は 1.2 泊であり、前年比 0.03 泊増加した。
- ・ 前年比で、個人旅行の割合が 3% 減少した。

彦根城・夢京橋キャッスルロード・四番町スクエアがメイン、平均立ち寄り地点数は 2 とほぼ変わらず

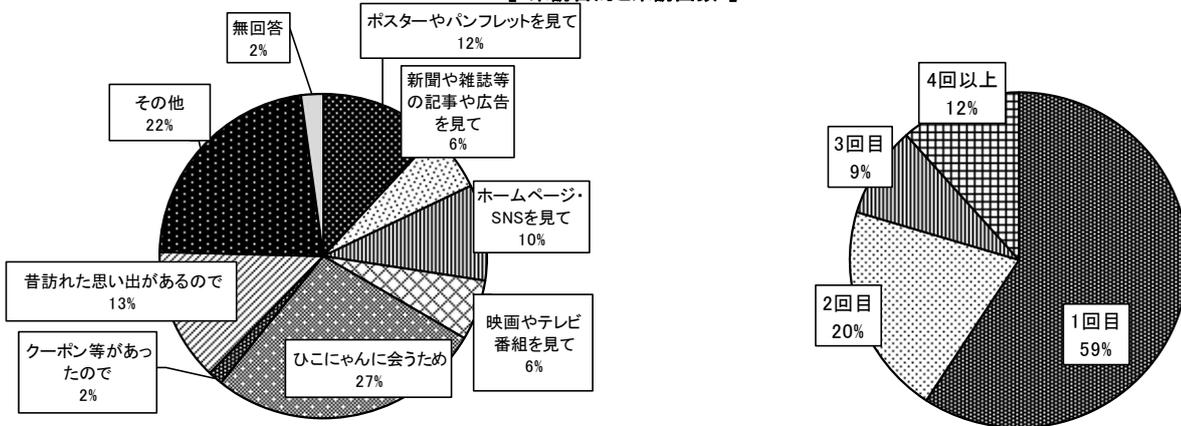
【 立ち寄り箇所、宿泊・日帰り客別立ち寄り地点数 】



- ・ 主な観光スポットが、彦根城(博物館、玄宮園含む)、夢京橋キャッスルロード、四番町スクエアの 3 地点なのは例年通りだった。
- ・ 前年度と比較して、観光スポットの内訳に大きな変化は見られない。
- ・ 平均立ち寄り地点数は、宿泊客が 1.77 地点、日帰り客が 1.81 地点であり、前年と比較してわずかに増加した。

はじめての来訪が最多である一方、3回以上のリピーターは2割程度である

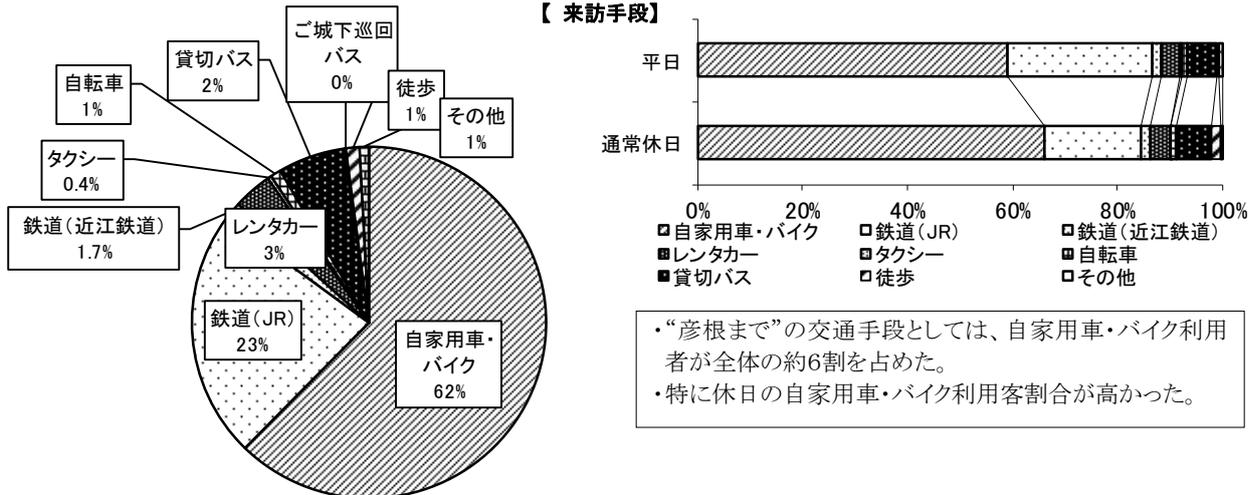
【来訪目的と来訪回数】



・「ひこにゃんに会うため」が27%と最も高く、次いで「昔訪れた思い出があるので」が13%となっている。
 ・最も多いのが初めて(1回目)であり、約6割を占めている。

自家用車・バイクでの彦根来訪が6割、鉄道は2割となっている

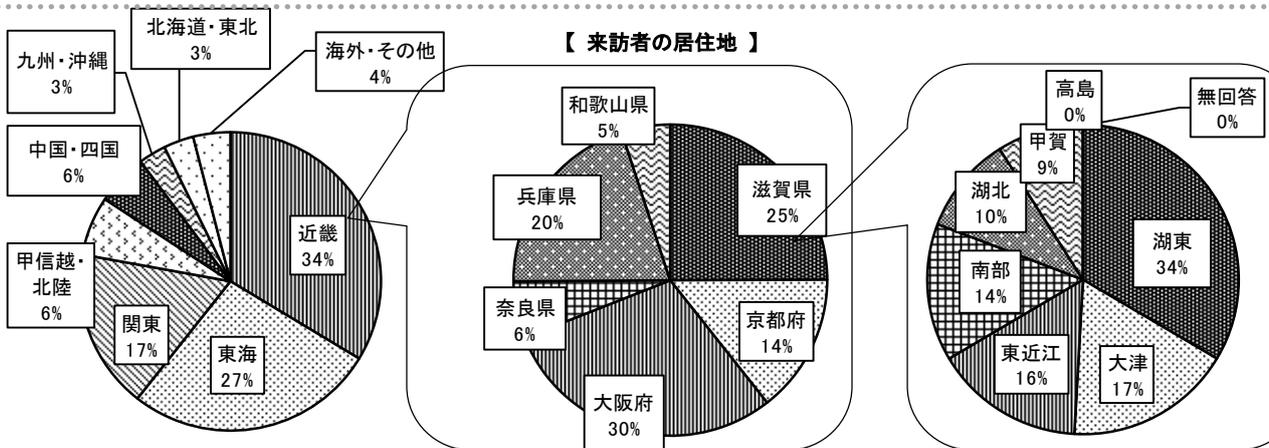
【来訪手段】



・“彦根まで”の交通手段としては、自家用車・バイク利用者が全体の約6割を占めた。
 ・特に休日の自家用車・バイク利用客割合が高かった。

来訪者の居住地は近畿34%、東海27%。近畿では大阪府が30%で最も高い割合

【来訪者の居住地】



・前年度と比較し、関東圏の割合が3ポイント減少、甲信越北陸圏の割合は2ポイント増加した。
 ・近畿圏、東海圏の割合は前年度とほぼ同じだった。
 ・前年度と比較し、滋賀県の割合が3ポイント増加し、大阪府の割合が5ポイント減少した。
 ・前年度と比較し、滋賀県内の内訳に大きな変化は見られなかった。

【試算】3つのシナリオに基づく経済波及効果

2022年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の流行により、底打ちし回復傾向にあるものの例年と比較し経済波及効果が減少している状況に鑑み、コロナ禍からの回復及びアフターコロナ社会における旅行需要の取り込みにより観光客数が増加した場合の経済波及効果を、以下のとおり試算した。

- ・シナリオ A 新型コロナウイルス感染症からコロナ以前の水準まで回復
- ・シナリオ B 市内観光入込客数・市内宿泊者数が彦根市観光振興計画の目標値水準まで向上
- ・シナリオ C 滋賀県旅行の宿泊地としての彦根市の確立による宿泊客数の増加

シナリオ A では、観光客実人数がコロナ以前の水準にまで回復することにより観光消費総額が 66 億円上積みされ 208 億円に、さらに波及総額では 89 億円上積みされ 280 億円と試算された。

シナリオ B では、彦根市観光振興計画に基づく取組により、彦根市への国内外の旅行需要のさらなる取り込みを実現することにより、彦根市への観光入込客数が 376 万人、市内宿泊者数（日本人・外国人合計）が 49.7 万人まで向上することを想定した場合の試算である。その結果、観光消費総額は 151 億円増の 293 億円、波及総額でみると 203 億円増の 393 億円と試算された。

シナリオ C では、シナリオ B に加えて、さらなる宿泊客需要の獲得により、宿泊観光客割合が彦根市観光振興計画の目標値（13.2%）と京都市との中間値であるの 18%まで増加する場合の試算である。その結果、観光消費総額が 192 億円上積みされ 333 億円に、さらに波及総額では 258 億円上積みされ 448 億円と試算された。

【 試算結果一覧 】

		2023年		<シナリオA>		<シナリオB>		<シナリオC>	
		宿泊客	日帰り客	宿泊客	日帰り客	宿泊客	日帰り客	宿泊客	日帰り客
	観光客実人数	289千人	1,298千人	459千人	1,711千人	497千人	3,263千人	677千人	3,083千人
試算結果	観光消費総額(百万円)	14,137		20,762		29,263		33,307	
	増分(百万円)			6,625		15,126		19,170	
	波及総額(百万円)	19,013		27,954		39,266		44,792	
	増分(百万円)			8,940		20,253		25,779	
	第3次産業押上げ効果			3.1%		7.1%		9.0%	
	雇用者総数(人)	1,713		2,502		3,584		4,037	
	増分(人)			790		1,871		2,324	

◆ 調査・分析受託 一般社団法人 行政経営支援機構

代表理事
滋賀大学 経済学部 教授 …………… 横山 幸司 (Koji Yokoyama)

代表理事
公認会計士…………… 鳥生 紘平 (Kohei Toriu)

〒530-0043 大阪府大阪市北区天満1丁目6-8
六甲天満ビル2階
Tel/ Fax : 06-7710-3689
E-mail : info@pmsso.jp
URL : https://pmsso.jp